

子ども・子育て支援事業計画に基づく確保方策の見通しについて

利用定員と子ども・子育て支援事業計画の関係

		受入枠				計画に定めた 確保方策 ※各年度目標値	過不足	直近の 受入実績 *	
		各種施設の 利用定員 ※資料 1 P2 より	幼稚園(私学) ※認可定員の合計	超過入所 ※H28年1月実績	計				
H 27	1号	270	3,465	0	3,735	3,111	624	3,185	
	2号	1,185	0	0	1,185	1,145	40	1,058	
	3号	0歳	137	0	24	161	219	△58	161
		1・2歳	578	0	45	623	690	△67	623
	計	2,170	3,465	69	5,704	5,165	539	5,027	
H 28	1号	435	3,200	0	3,635	3,047	588		
	2号	1,186	0	0	1,186	1,121	65		
	3号	0歳	140	0	24	164	247	△83	
		1・2歳	584	0	45	629	736	△107	
	計	2,345	3,200	69	5,614	5,151	463		

*1号認定は平成27年11月1日現在、2・3号認定は平成28年1月1日現在

1、2号認定子どもでは、利用定員の合計は量の見込みを上回っており、必要な受け入れ枠が確保されています。

3号認定子どもの利用定員は、昨年からわずかに増加していますが、計画に定めた目標値には届いていません。

現時点での課題として、主に以下の2点が挙げられます。

- ・超過受入数の減少
(H27年3月とH28年1月の比較 0歳児:約60人→24人、1,2歳児:約70人→45人)
- ・小規模保育事業、事業所内保育事業の開設数が想定を下回っている

超過入所減少は主に保育士の不足によるものであり、その要因として配慮が必要な子どもの増加などが考えられます。

既存の保育所等での受け入れ拡大だけでなく、施設の新規開設をする場合にも、保育士の配置が必要であるため、保育士確保に努めます。また、小規模保育事業等の新規開設についても検討を進めるなど、受入枠を目標値に近づけるよう取り組んでまいります。